

## 第72回日本栄養・食糧学会大会 発表報告

(2018年5月11日(金)～13日(日) 岡山県立大学)

応用生命化学専門教育コース4年生の3名が第72回日本栄養・食糧学会大会で初めての学会発表を行いました。学生の感想も含めてご報告します。

### ● 発表演題

松本 友希

「n-6系多価不飽和脂肪酸摂取と血清脂質との関連：東温スタディ」

續木 美紀

「種実類摂取と血清脂質との関連：東温スタディ」

乃美 香菜恵

「米飯摂取量と糖尿病の関連：東温スタディ」

### ● 感想

松本 友希

「この学会で私は、「n-6系多価不飽和脂肪酸摂取と血中脂質との関連性」について発表しました。同じ栄養学分野において長年研究をなさっている先生方を前に経験の浅い私が発表するのはとても緊張しましたが、皆さんとても熱心に聞いてくださり、質疑応答では時間いっぱいディスカッションができました。私も対等に一研究者として認められていると感じ嬉しくもあり身が引き締まる思いでした。質疑応答では、私の確認や理解が甘かった点を発見することができとても勉強になりました。また、ほかの先生方の発表を聞き、研究内容はもちろんのこと、発表の仕方、スライドの工夫などとても参考になり、この学会で多くのことを学びました。この経験を忘れず、次回の研究発表に生かしていきたいと思います。」

續木 美紀

「私は「種実類摂取と血中脂質との関連」について発表しました。学会会場には多くの人がかいて緊張しましたが、発表中はスクリーンの方を向いていたためあまり緊張はしませんでした。質疑応答では種実類の定義や種実類の摂取量の質問の仕方など、方法に関する質問が多かったです。答えられなかった質問もあるため、今後はそのことも意識しながら研究を進めていきたいです。また、他の参加者の発表や質疑応答の聞き、質問に対する答え方なども学ぶことができました。人前での発表や質疑応答などの機会はめったにないため、貴重な経験となりました。」

## 乃美 香菜恵

「私は、米飯摂取量と糖尿病の関連について発表しました。初めての学会ということもあり、発表では緊張しましたが、ほぼ練習で行った通りに進めることができました。質疑応答の際、分析方法について質問されましたが、答えられず、自分の勉強不足を痛感しました。このことから、基礎の部分から丁寧に勉強する必要があると思いました。また、他の研究者の発表を聞いたことも、良い刺激になりました。特に印象に残った発表は、サルコペニアに関する研究です。サルコペニアは、自分の研究で少し調べていた内容だったことから、興味を持って聞くことができました。また、発表者が、何故そうしたのか理由付けしながら順序良く話されており、発表方法として参考になりました。今回の学会では、同じ分野の研究がどのように行われているのか知ることができ、疫学を理解を深めるとともに、研究への意欲を高めることができましたと思います。」

